

カンサス：小麦作柄と気象状況

2005年8月28日（最終）

2005年8月28日現在：

8月28日に終わる1週間の気温は平年を下回り、州全域にて降雨があった。1週間の州平均農作業稼働日数は2.2日（前週：5.7日）であった。土壌水分は前週より改善した。州中部から東部に掛けTopsoil水分が過剰の圃場が多発した。

2005年8月28日現在の土壌水分：

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	0	22	32	2	3	0	0	0	0	6	12	3
Short (%)	21	38	15	16	9	4	10	1	0	11	27	29
Adequate (%)	78	36	53	81	69	66	62	56	38	62	57	64
Surplus (%)	1	4	0	1	19	30	28	43	62	21	4	4

Subsoil

Very Short (%)	4	48	32	4	11	1	0	0	7	10	16	11
Short (%)	54	37	31	46	34	28	23	7	7	29	38	28
Adequate (%)	42	15	37	50	53	53	77	79	64	54	46	60
Surplus (%)	0	0	0	0	2	18	0	14	22	7	0	1

Week means Last Week, Year means Last year.

Source：Kansas Agricultural Statistics Service

品質概況：カンサス州農業統計局及び Kansas Grain Inspection Service Inc. の8月11日発表による品質概況（58郡の11,385貨車ロットサンプル）の分析結果は次の通りであった。品質状況は前週と同じであった。

Crop	Test Weight Lbs/bu	Protein % Mois. 12 % basis	Moisture %	Grade		Damaged Total %
				No. 1	No. 2	
2005	61.0	12.3	11.2	82	17	0.3
2004	59.7	12.8	11.6	51	36	0.7
10 Yr Ave.	60.3	12.1	11.6	NA	NA	0.2

10 Years Average：1994-2003

Shrunken & Broken kernels の平均値は1.2%、2004年産平均値は1.3%、10年

平均値は 1.6%であった。

州政府の品質調査プログラム以外に、5,384 個の自主サンプルが Kansas Grain Inspection Service で分析され、その結果では、平均容積重は 60.7 lbs/bu、蛋白質：12.4%、水分 11.3%であった。これ等サンプルの格付けでは US No. 1 が 53%、US No. 2 が 43%、No. 3 が 4%であった。昨年自主検査に持ち込まれた総サンプル 12,862 個の分析値の平均では、容積重：58.7lbs/bu、蛋白質：13.2%、水分：11.6%であった。No. 1 は 46%、No. 2：43%、No. 3：7%、No.4%及び No. 5 が 4%であった。

2005 年産冬小麦は 2004 年産冬小麦より、品位が全体に良い結果となっている。

生産量予想：

8 月 1 日付け USDA 冬小麦の生産予想では、7 月 1 日付け予想と同じであった。単位収量は 39.0 bu/ac。昨年実績 (37.0 bu/ac) より良い結果であった。詳細は別表の通り。

次ページへ：

8 月 1 日付け USDA 発表の冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
KS	8,500	9,600	37.0	40.0	39.0	314,500	374,400
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com